

◆教科	エステ	◆科目		◆科目コード	60101	◆授業の方法		学科・実習	
◆開講年度	2023年度	◆開講時期	1年(前期)	◆担当教員	専任教員・非常勤講師 (実務経験あり)	◆授業の回数			3h×20
◆授業の目的と概要	エステティックとはを理解し、衛生消毒の重要性と下肢ボディマッサージ技術を学ぶ。 美肌についての知識を身につける。								
◆到達目標	学科・美肌についての知識を学ぶ。美肌検定合格、美肌エキスパートを取得する。骨格・筋肉・身体の構造を覚える。 実技・日本エステティック協会ボディ実技の手法効果を学び、下肢トリートメントマッサージ技術をマスターする。								
回数	授業の形式	授業内容①			授業内容②		使用教材		
1	学科	学科/エステティックについて 美肌検定の本P8~13			エステティックとはの説明、美肌の条件、美肌度チェック、美肌維持について		美肌検定の本		
2	実習	①実習/身だしなみの説明フェイシャルホームケア製品の説明とケアの重要性			フェイシャルホームケア製品の説明		ホームケア製品・モニター		
3	学科	学科/美肌検定の本P16~24			美肌ケアの基本・運動と栄養について				
4	実習	②実習/身だしなみ・ワゴンセッティング・消毒・衛生について			衛生の必要性				
5	実習	学科/体型や脂肪・セルライトについて ③実習/セルフケアマッサージ			ホームケアの重要性を学ぶ。体型維持の為にできるホームケアについて知る。				
6	学科	学科/美肌検定の本P25~31・理論と技術の教科書P59~			皮膚の構造と働きについて、4つの肌タイプ、表皮のターンオーバー、真皮の構造について				
7	実習	④実習/下肢後面相モデル① マッサージ練習			軽擦法・手法と効果の説明と練習・HOTタオルの拭き取り(デモンストレーションも含む)				
8	学科	学科/美肌検定の本P32~46・理論と技術の教科書P59~			年代別お手入れ方法、男性の肌のお手入れ方法について、睡眠とホルモン女性ホルモン、お手入れについて				
9	実習	⑤実習/下肢後面相モデル② マッサージ練習			軽擦法の復習 / 強擦法・手法と効果の説明・足裏までの手法練習				
10	学科	学科/美肌検定の本 理論と技術の教科書			体調と肌、活性酸素とは？活性酸素の要因				
11	実習	⑥実習/下肢後面相モデル③ マッサージ練習			前回までの復習・膝を曲げる手法まで/手法目的の解説デモンストレーション・手法練習				
12	学科	学科/美肌検定の本 理論と技術の教科書			女性ホルモンと肌、季節にあつたお手入れについて				
13	実習	⑦実習/下肢後面相モデル④ マッサージ練習			前回までの復習 / 揉捻法の手法と効果の説明デモンストレーション・手法練習				
14	学科	学科/美肌検定の本 理論と技術の教科書			クレンジングと洗顔、美肌を育む、与えるスキンケアについて				
15	実習	⑧実習/ 下肢後面相モデル⑤ マッサージ練習			前回までの復習・手技通し練習				
16	学科	学科/美肌検定の本・確認テスト① 理論と技術の教科書(マッサージ手法・手法・目的・効果テスト)			学科確認テスト①フェイシャルマッサージの効果、美肌維持に関係する表情筋				
17	実習	⑨実習/下肢前面相モデル⑥ デモンストレーション&マッサージ練習			手技通し練習・ハンドマッサージ				
18	学科	学科/美肌検定の本・確認テスト② 理論と技術の教科書(筋肉・骨格テスト)			学科確認テスト②				
19	実習	⑨実習/下肢後面相モデル⑦ 実技テスト			技術確認テスト				
20	実習	⑩学科/美肌検定			最終下肢マッサージテクニックチェック				
評価方法及び基準	授業8割以上の受講をもって、試験の結果により次のとおり評価する。								
	【評価】90～100点→A評価 70～89点→B評価 60～69点→C評価 0～59点→D評価								
	①追試験を受験して合格した場合、60点として評価する。(学校が適当と認めた理由により受験した場合はその限りではない)。								
	②試験または追試験の結果が59点以下の場合、再試験の受験を義務づける。								
③再試験を受験して合格した場合、60点として評価する。									

◆教科	メイク	◆科目		◆科目コード	60201	◆授業の方法	実習・講義
◆開講年度	2023年度	◆開講時期	1年(前期)	◆担当教員	専任教員	◆授業の回数	3h×20
◆授業の目的と概要	スキンケア・メイクアップの基礎知識を習得する。 自分の顔立ちを用いて、道具の取り扱いを習得する。						
◆到達目標	スキンケア製品・メイクアップ製品が持つ特性を理解して、技術を行うことができるようになる。						
回数	授業の方法	授業内容①		授業内容②		使用教材	備考
1	講義	教材配布・授業について・メイク理論					
2	実習	基礎理論(自分の顔を知る)・パーツ計測					
3	実習	基礎理論(スキンケア)・スキンケア実習					
4	実習	基礎理論(ベースメイク)・ベースメイク実習					
5	実習	基礎理論(アイメイク)・アイメイク実習					
6	実習	基礎理論(アイブロウ)・アイブロウ実習					
7	実習	基礎理論(リップ・チーク・ハイライト)・フルメイク実習					
8	実習	応用理論(イメージメイク)・かわいいメイク実習					
9	実習	応用理論(イメージメイク)・大人メイク実習					
10	実習	イメージメイク(かわいいor大人)		評価			
11	実習	応用理論(修正メイク・就活メイク)・就活メイク実習					
12	実習	就活メイク					
13	実習	ウィッグメイク(フルメイク)					
14	実習	ベースメイク・アイブロウ					
15	実習	ベースメイク・アイメイク					
16	実習	フルメイク					
17	実習	フルメイク50分(かわいい)					
18	実習	フルメイク50分(大人)					
19	実習	フルメイクテスト		評価			
20	実習	フルメイク(プランニング)		評価			
評価方法及び基準	100点満点での実技テストを行い、チェックリストによる減点方式とする(授業8割以上の受講をもって評価する)						
	【評価】90～100点→A評価 70～89点→B評価 60～69点→C評価 0～59点→D評価						
	①追試験を受験して合格した場合、60点として評価する。(学校が適当と認めた理由により受験した場合はその限りではない)。						
	②試験または追試験の結果が59点以下の場合、再試験の受験を義務づける。						
③再試験を受験して合格した場合、60点として評価する。							

◆教科	ネイル	◆科目		◆科目コード	60301	◆授業の方法	実習・講義
◆開講年度	2023年度	◆開講時期	1年(前期)	◆担当教員	非常勤講師	◆授業の回数	3h×30
◆授業の目的と概要	ネイルケア、カラーリング、ネイルアート、に関する基本的な技能及び知識を学ぶ						
◆到達目標	ネイリスト技能検定試験3級合格						
回数	授業の形式	授業内容①		授業内容②		使用教材	備考
1	学科	教材配布、チェック					
2	学科	ネイルの歴史、爪の構造と働き					
3	実習	カットフォーム					
4	実習	ネイルケア		爪の構造の学科小テスト			
5	実習	カラーリング					
6	実学科	消毒法					
7	実習	ネイルアート					
8	実習	ネイルアート					
9	学科	ネイルのための皮膚科学、つめや皮膚の病気とトラブル		消毒法の小テスト			
10	実習	検定アート					
11	学科	化粧品学					
12	実習	ネイルケア					
13	実習	ネイルケア					
14	実習	カラーリング					
15	実習	ネイルケア、カットフォーム					
16	実習	カラーリング					
17	実習	カラーリング					
18	実習	カラーリング					
19	実習	ネイルケア、カラーリング					
20	実習	カラーリング、アート					
21	実習	検定実習					
22	実習	検定実習					
23	学科	3級検定対策		学科テスト(過去問)			
24	実習	検定実習					
25	実習	検定実習					
26	実習	実技テスト		ネイル検定3級の合格基準に沿ってチェック			
27	実習	実技テスト					
28	実習	検定実習					
29	実習	検定実習					
30	学科	道具の返却チェック					
評価方法及び基準	学科テストの点数×0.5+実技テストの点数の合計×0.5						
	【評価】90～100点→A評価 70～89点→B評価 60～69点→C評価 0～59点→D評価						
	①追試験を受験して合格した場合、60点として評価する。(学校が適当と認めた理由により受験した場合はその限りではない)。						
	②試験または追試験の結果が59点以下の場合、再試験の受験を義務づける。						
③再試験を受験して合格した場合、60点として評価する。							

◆教科	デザイン	◆科目	デッサン・ デザインカラー	◆科目コード	60501	◆授業の方法	講義
◆開講年度	2023年度	◆開講時期	1年(前期)	◆担当教員	非常勤講師	◆授業の回数	3h×10
◆授業の目的と概要	【デッサン】ネイルやメイクを施すにあたりイメージは必要なものです。豊かな発想でデザインをイメージすることができるよう、デッサン力を身につけます。 【デザインカラー】						
◆到達目標	【デッサン】模写ができるようになること 【デザインカラー】						
回数	授業方法	授業内容①		授業内容②		使用教材	備考
1	講義	【デッサン】 色の話、暖色・寒色(色えんぴつ) 手のデッサン(えんぴつ)					
2	講義	【デッサン】 グラデーション(えんぴつ)、立方体デッサン(えんぴつ) 顔のデッサン(えんぴつ)					
3	講義	【デッサン】 顔のパーツの描き方(目・鼻・口) 顔のデッサン(えんぴつ、色えんぴつ)					
4	講義	【デッサン】 球の描き方(色えんぴつ) 顔のデッサン(色えんぴつ)					
5	講義	【デッサン】全身デッサン 立ちポーズ(えんぴつ) 座りポーズ(色えんぴつ)					
6	講義	【デッサン】 模写「名画の中の自画像」(下書き:えんぴつ)					
7	講義	【デッサン】 模写 仕上げ(色えんぴつ)					
8	講義	【デザインカラー】以後、後期！					
9	講義						
10	講義						
評価方法及び基準		<p>授業8割以上の受講をもって、試験の結果により次のとおり評価する。</p> <p>【評価】90～100点→A評価 70～89点→B評価 60～69点→C評価 0～59点→D評価</p> <p>①追試験を受験して合格した場合、60点として評価する。(学校が適当と認めた理由により受験した場合はその限りではない)。</p> <p>②試験または追試験の結果が59点以下の場合、再試験の受験を義務づける。</p> <p>③再試験を受験して合格した場合、60点として評価する。</p>					

◆教科	デザイン	◆科目	クレイアート・紅茶・エクササイズ	◆科目コード	60502	◆授業の方法	講義
◆開講年度	2023年度	◆開講時期	1年(前期)	◆担当教員	非常勤講師	◆授業の回数	3h×10
◆授業の目的と概要	【クレイアート】粘土を通して創造性を高め 豊かな感性を育てます。						
	【紅茶】お客さまから施術の依頼があった場合、リラックスした気分で話をしてもらうために、紅茶の機能を活用することも一つの方法です。紅茶の種類や入れ方など紅茶に関する知識とともに、お客様の心を豊かにする手助けとして活用できるよう、実際に紅茶を淹れることを体験する。						
	【エクササイズ】同じ姿勢で集中して仕事をすることが多い美容の仕事。腰や肩にも負担がかかってしまうこともあります。リフレッシュした身体で仕事に臨めるよう、いつでもどこでも気軽にできるストレッチやエクササイズを体験します。						
	【クレイアート】クレイアートの楽しさを知り、感情豊かな創造性を高める。思い通りの色出しができる楽しさを体感する。						
◆到達目標	【紅茶】美味しい紅茶の淹れ方を習得し 紅茶のもたらす癒しの効果と共に紅茶の基礎知識を深める。紅茶のシーンで困らないようなマナーやルールなどを身に着ける。						
	【エクササイズ】身体をほぐす運動と身体を動かす運動を体験し、自分の身体の状態に合わせてケアをすることができる。						
回数	授業方法	授業内容①		授業内容②		使用教材	備考
1	講義	【クレイアート】粘土に触れ、色出しの楽しさを知る		色に対するイメージを膨らませます。			
		・創作する楽しさを体感する		バラの花を作成			
2	講義	【クレイアート】イメージの色出しをして、粘土の楽しさを知る		薔薇の花を小さく作り好みのヘアピンを作成			
		・アレンジの楽しさを体感する					
3	講義	【クレイアート】四季の色のイメージの色出しで粘土の楽しさを知る。		ラナキュランスと葉っぱの作成			
4	講義	【紅茶】紅茶の淹れ方と保存方法		実際に紅茶を入れてティータイムを楽しむ			
5	講義	【紅茶】淹れ方の実践、試飲		実際に紅茶を入れてティータイムを楽しむ			
		・紅茶の樹、品質の見分け方、紅茶の効果機能を学ぶ		紅茶の基礎知識を深めながら 紅茶のシーンで困らないようなマナーやルールについて学ぶ			
6	講義	【エクササイズ】					
		ウォーキング、自己紹介、ダンスグループ分け					
7	講義	【エクササイズ】					
		ウォーキング、ダンスグループ練習					
8	講義	【エクササイズ】					
		ウォーキング、ダンスグループ練習					
9	講義	【エクササイズ】					
		ウォーキング、ダンスグループ練習、リラクゼーション					
10	講義	【エクササイズ】					
		ウォーキング、ダンスグループ練習、リラクゼーション					
評価方法及び基準	出席点=出席コマ÷授業コマ(30)×100にて評価						
	【評価】90～100点→A評価 70～89点→B評価 60～69点→C評価 0～59点→D評価						
	①追試験を受験して合格した場合、60点として評価する。(学校が適当と認めた理由により受験した場合はその限りではない)。						
	②試験または追試験の結果が59点以下の場合、再試験の受験を義務づける。						
③再試験を受験して合格した場合、60点として評価する。							

◆教科	教養文化	◆科目	接客マナー	◆科目コード	60601	◆授業の方法	講義	
◆開講年度	2023年度	◆開講時期	1年(前期)	◆担当教員	非常勤講師	◆授業の回数	3h×10	
◆授業の目的と概要	「サービス」とは「相手に満足を提供する」ということであり、その行動のことを接客といえます。美容に携わる仕事では、相手が快適であると感じるような世話や、相手を感じがいいと思うような言葉づかいで接することが求められます。このサービスに対する考え方や行動の型を、講義・演習形式により学び、おもてなしの心とかたちを育てます。前半8回は、さまざまなサービスの現場で求められる「ヒューマンスキル」を学び、検定試験3級合格を目指します。9、10回目では、接客時に行動できるように実践をします。「好感のもてる立ち居ふるまい、話し方」を身につけることは、就活時の面接対応や社会人になつた時にも多いに役立ちます。目標を持ち、大切な時に力を発揮できるように取り組みます。							
	◆到達目標	サービス業務に対する心構え、対人心理の理解、対応の技術、口のきき方、態度、ふるまいの基本を習得し、サービス接客検定3級に合格						
		1.面接やアルバイト先で授業の内容を発揮できます。						
		2.接客業者として必要な資質、実務、人間関係、技能を理解できます。						
3.日々ブラッシュアップする意識を育み、毎日の積み重ねが人生をつくることを理解します。								
回数	授業の形式	授業内容①		授業内容②		使用教材	備考	
1	講義	①必要とされる要件 愛想・愛嬌の理解		サービス接客検定の説明		テキストP7～47		
		②従業要件 明るさ・誠実さ・みだしなみについて						
2	講義	①サービス知識 全ての職業にサービスマインドが存在する				テキストP50～64		
		②接客用語、言葉遣い						
3	講義	過去問演習 サービス接客検定問題集を解き、理解を深める						
4	講義	敬語のセオリー		ビジネス敬語のルール10の知識を習得		テキストP82～168		
		目上の方に控える言葉、誤った敬語表現など		50の事例を通して、正しい敬語の使い方を身に付ける				
5	講義	接客者としての基本的な話し方		敬語表現演習プリント使用				
		社交業務 冠婚葬祭のマナー、一般知識について		テキストの用語をノートに書き写し、用語を覚える(宿題)				
6	講義	過去問演習						
		環境整備						
		金品管理						
7	講義	過去問の解説						
		一般知識・用語						
8	講義	検定に向けての最終チェック						
		上書き						
		敬語						
9	講義	サービス接遇のポイント		実技試験の説明				
10	講義	サービス接遇学科・実技試験						
評価方法及び基準	学科→50点満点、実技→50点満点の合計点数で評価							
	【評価】90～100点→A評価 70～89点→B評価 60～69点→C評価 0～59点→D評価							
	①追試験を受験して合格した場合、60点として評価する。(学校が適当と認めた理由により受験した場合はその限りではない)。							
	②試験または追試験の結果が59点以下の場合、再試験の受験を義務づける。							
③再試験を受験して合格した場合、60点として評価する。								

◆教科	教養文化	◆科目	アロマセラピー	◆科目コード	60604	◆授業の方法	講義
◆開講年度	2023年度	◆開講時期	1年(通年)	◆担当教員	非常勤講師	◆授業の回数	3h×10
◆授業の目的と概要	アロマセラピーとは何かを学び、市場におけるアロマセラピーの役割、需要を知る。その中で、自分のライフスタイルや、自分が活躍を希望する分野で、どの様にアロマセラピーを活用するのかを考えていく。 アロマセラピーを通し、自分自身を見つめ、自分の将来像と照らし合わせながら、就職や自己実現に役立てる。						
◆到達目標	様々な精油の効果、効能、活用の仕方について習得する。アロマセラピー実習を体験しながら、理解を深める。						
回数	授業の形式	授業内容①		授業内容②		使用教材	備考
1	講義	オリエンテーション		*精油のプロフィール 30種 (10回に渡って習得)		アロマセラピー検定公式テキスト	
		アロマセラピーとは何か		*アロマセラピー実習(クレイセラピー・アロマ			
		アロマセラピー協会、資格について		トリートメント等を行う)			
2	講義	アロマセラピーの基本					
		精油について					
3	講義	アロマセラピーの安全性					
4	講義	アロマセラピーを実践する					
5	講義	アロマセラピーのメカニズム					
6	講義	アロマセラピーとビューティ&ヘルスケア					
7	講義	アロマセラピーの歴史					
8	講義	アロマセラピーに関する法律					
9	講義	アロマセラピーに関連する職業と活躍分野					
10	講義	授業まとめ					
評価方法及び基準	課題評価、授業への取り組みの姿勢、出席点による総合評価						
	課題評価50点→1課題10点とし、5回提出(十分満足と判断→9～10点、概ね満足であると判断される→7～8点、可(4～6点)、もう少し努力が必要→1～3点、未提出→0点)						
	授業への取り組みの姿勢40点→忘れ物10点、私語10点、居眠り10点、学習への取り組み方10点(1ポイントずつの減点方式)						
	出席点10点→3時間単位の授業1回出席ごとに1点						
	【評価】90～100点→A評価 70～89点→B評価 60～69点→C評価 0～59点→D評価						

◆教科	教養文化	◆科目	栄養学	◆科目コード	60605	◆授業の方法	講義
◆開講年度	2023年度	◆開講時期	1年(前期)	◆担当教員	非常勤講師	◆授業の回数	3h×10
◆授業の目的と概要	1. 健康な生活の基本としての食生活の意義や栄養に関する基礎知識の習得をする 2. 美容に関する栄養的な知識の習得をする						
◆到達目標	①自身の食事の内容を見直し、健康を意識した栄養バランスを考えることができる ②美容に関する栄養の基礎知識を習得し、人に伝える力を習得する						
回数	授業方法	授業内容①			授業内容②		
1	講義	・オリエンテーション ・日本人の食生活の変遷 ・青年期における食生活の実態と問題点			自身の食生活と照らし合わせて考える		
2	講義	・人の体は何でできているか			【水、たん白質、糖質、脂質、ビタミン、ミネラル】 各栄養素の働き		
3	講義	・栄養素の働きと欠乏 ・栄養素の消化と吸収・代謝			栄養がどのような過程を経て人体の健康を保っているのかの知識を得る		
4	講義	・健康を維持するための食事の基本 ・美容栄養 ・BMI算出、食事バランスガイド			体内時計、ホルモン、自律神経、血管など栄養摂取との関連を知る。総合的観点から健康の知識を得る 肌の再生に良い栄養素の働きと多く含む食品 自分自身の体格調査をし、食事のバランスを見直して栄養の摂り方を考える		
5	講義	・食品表示に関する制度 ・前半テスト 栄養素に関する基本的知識の理解度の評価			保健機能食品表示 特定保健用食品、栄養機能食品、機能性表示食品などの表示制度の違いを知る		
6	講義	前半の復習 ライフステージ栄養: 妊産期・授乳期 乳児期 幼児期 ライフステージ栄養: 思春期・成人期 更年期 高齢期			女性の体の変化に応じた栄養素の摂り方を学ぶ レポート課題		
7	講義	健康に美しい肌を保つために必要な栄養素 美しく健康に体を整えていくには 髪 肌 総集編			栄養素の意識して摂るもの 控えるもの		
8	講義	栄養バランスを意識したちよいし料理 コンビニ編 冷凍食品編 小テスト: 知識の理解度評価			1食の食事のバランスを考える力を養う		
9	講義	旬の食材 栄養の違い 献立作成 肌に良い理想の献立作成 手ばかり栄養法を学ぶ			旬の食材栄養価を知る 献立作成ができる力を養う 日常生活における食事バランスを考える力を養う		
10	講義	疑問質問 炭水化物は太るの? 油の摂り方は? お肉はダメなの? お菓子は食べたらダメなの? 総合テスト評価			一般的な質問に対して生理学的根拠に基づいた知識があって利用者さんの質問に受容した返答ができる		
評価方法及び基準		【評価】90～100点→A評価 70～89点→B評価 60～69点→C評価 0～59点→D評価 ①三回の小テスト60%、レポート20%、授業の態度・積極性20%にて評価を行う。 ②総得点59点以下はレポート提出し、学校が認めた場合、60点として評価する。					

◆教科	教養文化	◆科目	英会話	◆科目コード	60606	◆授業の方法	講義
◆開講年度	2023年度	◆開講時期	1年(前期)	◆担当教員	非常勤講師	◆授業の回数	3h×10
◆授業の目的と概要	英語を第一言語としている国は12ヶ国、公用語／準公用語としている国は50ヶ国ほどあると言われてます。実際に、今後、仕事やプライベートでその国を訪れる機会も多くあることでしょう。また、その国の人々が日本を訪れ、お客さまとして接する機会も多くあるでしょう。コミュニケーションツールの一つとして、英語が使えるようになり、ビジネスチャンスを広げることに活用できるように学びます。						
◆到達目標	ポキャブラリーを増やし、会話能力を上げる。 英語を話すときの、気持ちの持ち方を学ぶ。						
回数	授業方法	授業内容①		授業内容②		使用教材	
1	講義	講師自己紹介		アイズブレイクのコツ			
		英語を学ぶ理由・意義、英語の基本的なつくり					
		be動詞・一般動詞(現在形と進行形)					
		be動詞過去形、三単現、現在進行形					
2	講義	体調を答える時のバリエーション		I'm fine.の多用を避けよう			
		(テキスト)where are you from?				印刷物	
		国籍を表す単語					
3	講義	〇〇国製の名産品(国籍を表す単語を使用)		その名産品を知らない人でも理解できるよう、知ってる単語をつなげて説明			
		vocabulary Practice		国名／国籍のどちらを入れるか問題文を用いて演習		印刷物	
4	講義	GWの出来事を英作文		ペアで発表し、フォローアップクエスチョンをする。			
		全体に向けてパートナーの話した内容を発表					
5	講義	未来のことを話す		will / be going toの違い			
		買い物をするための表現を紹介					
		買い物シーンを店員と客役でロールプレイング		原稿を見ずに発表(原稿文を忘れても、思い出す秘訣を実践)			
6	講義						
7	講義						
8	講義						
9	講義						
10	講義						
評価方法及び基準		主に英会話のペア／グループ発表により次のとおり評価する。 【評価】90～100点→A評価 70～89点→B評価 60～69点→C評価 0～59点→D評価 ①追試験を受験して合格した場合、60点として評価する。(学校が適当と認めた理由により受験した場合はその限りではない)。 ②試験または追試験の結果が59点以下の場合、再試験の受験を義務づける。 ③再試験を受験して合格した場合、60点として評価する。					

◆教科	教養文化	◆科目	心理学	◆科目コード	60608	◆授業の方法	講義	
◆開講年度	2023年度	◆開講時期	1年(前期)	◆担当教員	非常勤講師	◆授業の回数	3h×10	
◆授業の目的と概要	心理学の基礎的な領域と人間の行動メカニズムとの関係性及びその考え方について学びます。普段私たちが何気なく行っている行動が、実は心理学の多様な領域と密接に関係していることも学んでいきます。							
◆到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・心理学のさまざまな分野における基礎的な知識を理解する。 ・人間の心理や社会に関する幅広い知識を得る。 ・自己や他者の行動と心理を理解する。 							
回数	授業の形式	授業内容①			授業内容②		使用教材	備考
1	講義	心理学概論						
2	講義	知覚・感覚						
3	講義	コミュニケーションモデル						
		メタモデル						
		高次的欲求						
4	講義	価値基準						
5	講義	批判への対応						
6	講義	アサーティブ						
7	講義	売れるSNS発信						
		コピーライティング						
8	講義	テスト対策						
9	講義	テスト						
10	講義							
評価方法及び基準	テストの結果により評価							
	【評価】90～100点→A評価 70～89点→B評価 60～69点→C評価 0～59点→D評価							
	①追試験を受験して合格した場合、60点として評価する。(学校が適当と認めた理由により受験した場合はその限りではない)。							
	②試験または追試験の結果が59点以下の場合、再試験の受験を義務づける。							
③再試験を受験して合格した場合、60点として評価する。								